



# 10月くれよんクラブ

第55号  
発行日：令和5年10月

気持ち良い秋晴れの下、伸び伸びと身体を動かすことを楽しんでいる子どもたち。ますます秋の深まりを感じているこの頃です。昼夜の気温差が大きい季節でもあるので、健康面には十分に気をつけていきたいと思います。

## 10月の目標

どうじきょうりよく

同事協力  
～思いやりを知る～

## 10月生まれ

2名 おめでとうございます♪

## 10月の予定

◎10/9 (月) スポーツの日

◎10/16 (月) 避難訓練

## 10月の職員研修

救急法・心肺蘇生法（高萩消防署）

※9月はミュージックケアを実施しました

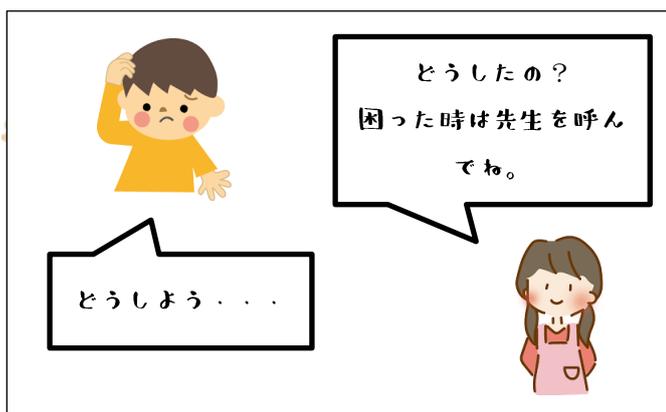


同仁会には年間目標があります。くれよんクラブでは毎月の目標を基に子どもたちと関わったり、伝えるようにしています。くれよんクラブで行っている子ども達とのかかわり方を毎月のおたよりで紹介していきたいと思います。

## ＜困った時に「手伝って」を伝えられるようになろう＞

くれよんクラブでは、子どもが何か困っているタイミングで、「困ったときは声をかけてね」や「困ったときには先生を呼んでね」と言うなど、子どもが声をかけやすい環境を心掛けて適切なタイミングで伝えられる練習をしています。

困ったときに人に助けを求める経験を学ぶことができ、「人と一緒にやる」ということで人との信頼関係を築くことができます。



みんな、周囲の状況や、その場の雰囲気、人の表情など、常にいろいろな影響を受けて行動しているのではないのでしょうか。目には見えなくても、同じ場所にいなくても、心の中の「〇〇」に影響を受けていることも。「心の中の〇〇さんが△△と言っている」というような、他者の考えや存在を、自分の中に取り入れることを心理学で「内在化」と言います。

言葉は、そうした「協力」を明確にする手段の一つです。素直に「助けて」と言うのは大人でも難しいような…くれよんクラブの支援が、お子様の心の中にどのように残るのか、イメージしたいと思います。



心理士 K